

# イレファイン® Ilefine

イレオストミー用パウチ  
Ileostomy Pouch

## 取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、商品の特性を十分理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書をお手元に置き、必要に応じてお読みください。

お客様相談室 ☎0120-770-175  
(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30)  
www.alcare.co.jp



### 準備

**① 必要物品を用意します**

●ご使用のストーマ装具 ●カッティングゲージ ●石鹸 ●ガーゼ ●ティッシュペーパー ●ゴミ袋 ●ぬるま湯 ●ハサミ ●細い油性ペン

**② 装具を剥がします**

皮膚を傷つけないように片手でおなかの面版近くを押さえながら、上から下へゆっくり、やさしく剥がします。  
\*面版が皮膚に密着し剥がれない時は、剥離剤を使いながら剥がすとよいでしょう。

**③ ストーマ周囲を清拭します**

この時、粘着を悪くする皮膚表面の油分を十分に取り除くようにしてください。石鹸成分は十分に洗い流すようにしてください。面版が付きにくくなることや剥がれの原因となります。

その後、皮膚をよく乾かします。  
\*ドライヤーの熱風はストーマに刺激を与えますので、使用は避けましょう。

**このような場合には**

- 入浴時は、防水テープの併用がおすすめです。
- より確実な固定には、ベルトの併用がおすすめです。(D-70/TDフラット/Dキャップフラットを除く)

イレファインを皮膚に密着させ、確実に固定するには、ベルト(ユークアー胴ベルト)の併用が効果的です。ベルトのご使用方法はユークアー胴ベルトの取扱説明書をご確認ください。

**使用上のご注意**  
ストーマ装具の交換の際は以下の点にご注意ください。  
入浴直後の交換は、お避けください。面版の温度が上がっているため、粘着強度が高まり、剥がしにくいことがあります。入浴後交換の場合は、30分以上たつて面版の温度が下がったのを確認のうえ、行ってください。

### 使用手順(排出口の開閉方法) <TD/TDフラットの場合>

**●排出口の開閉方法**

**① 末端を折ります**  
末端のプレートを手前に4回折り上げます。  
\*折り上げにゆるみやシワがあると、便漏れやおい漏れの原因になります。

**② 面ファスナーのフック面が表になります**  
折り上げラインに沿って、折り上げると面ファスナーのフック面が表に出できます。

**③ フック面にループ面を重ねます**  
フック面にフラップのループ面を重ねてからしっかりと押し付けて面ファスナーをとめます。

**●排出口の開け方**

**① フラップ部分を剥がします**  
片手でプレート部を持ちながら、フラップを左右いずれかの端から注意深く持ち上げて剥がします。

**② 折り上げた部分を開きます**  
排出口を上に向けながら、折り上げた部分を順番に開きます。最後まで開き、末端のプレートをV字に折り曲げると排出口が開いた状態で保持され、排出と拭き取りが容易になります。  
\*V字にしっかりと折って、くせをつけます。

**③ 便を排出します**  
ゆっくりと排出口をトイレに向け、便を排出します。  
\*排出口付近に便が残っていると、便漏れやおい漏れの原因となります。排出直前に、排出口付近はきれいに拭き取ってから閉じてください。

### 使用上のご注意

ご使用前には、医師または看護師の指導を受けたいうえ、注意事項を熟読し、本品の特性を十分理解してください。  
誤った取り扱いを行うと排泄物の漏れが発生し、漏れによる皮膚炎の原因ともなります。万一、肌に合わない時は使用を中止してください。

- ストーマ周囲には軟膏など、粘着力低下の原因となるものは塗らないでください。粘着力低下による漏れの原因となります。(被膜剤も、その特性上、粘着力に影響を与える場合があります。お使いの場合は、被膜剤の取扱説明書をよくご確認ください)
- 剥離フィルムを剥がした面版の表面には、指などが触れないようご注意ください。粘着力低下による漏れの原因となります。
- 一度剥がした装具をもう一度貼るのはおやめください。粘着力低下による漏れの原因となります。
- ご使用中のストーマ袋の中を水などで洗浄することはおやめください。袋の破損による漏れの原因となります。
- 装具を装着状態で折り曲げないでください。ストーマ袋の穴あきによる漏れの原因となります。
- 面版の粘着面が冷たくなっていると、貼り付きが悪い場合がありますので、暖かい部屋に移し、全体が温まってからご使用ください。
- 面版に開ける穴は、定められた有効径を越えて切らないでください。面版からの漏れの原因となります。
- 装具の使用日数が長くなると、粘着力低下による漏れの原因となりますので、ご注意ください。装具の交換日数は、発汗や排泄物などにより異なりますが、2～3日交換が目安です。
- 排泄物はストーマ袋に溜めすぎないようにし、適宜お捨てください。溜めすぎると重み

### 保管上のご注意

- による剥がれの原因となります。
- 万一、肌に合わない時は直ちに使用を中止し、医師または看護師に相談してください。
- 粘着力不足などの品質変化の原因となりますので、保管の際は次のことを避けてください。
- 高温(40℃以上)・多湿の場所での保管
  - 温度の低い場所(冷蔵庫など)での保管
  - 直射日光があたる場所での保管
  - 圧迫がかかる場所での保管
  - 大量購入による長期保管
- \*箱に記載されている使用期限を必ずご確認ください。
- 面版の剥離フィルムを剥がした状態での保管

### 廃棄上のご注意

使用済みのストーマ装具は、排泄物をトイレに流した後、新聞紙などに包み、ゴミ袋に入れてお捨てください。装具は通常「燃えないゴミ」の扱いですが、地域により異なる場合がありますので、詳しくは各自自治体へご確認ください。

### ストーマ装具の貼り方

**① ストーマの大きさを測ります**  
ストーマの大きさを測り、カッティングゲージにストーマと同じ大きさの穴を開けます。穴はゲージの中央に開けるようにしてください。このカッティングゲージは型紙としてとおきます。

**② 面版に穴を開けます**  
穴を開けたカッティングゲージを裏返し、面版の剥離フィルムを重ね合わせ、面版に穴の大きさを書き写します。その線よりも1～2mm程度大きめに面版を切り取ります。

**③ 穴の大きさを確認します**  
剥離フィルムを剥がす前に面版をストーマにあてて、穴の大きさが適切かどうかを確認します。

**④ 剥離フィルムを剥がします**  
皮膚が乾いていることを確認してから、面版の剥離フィルムを剥がします。

**⑤ 面版を貼りよく押さえませます**  
おなかのシワを伸ばすようにして、面版を貼ります。面版を貼付したら、皮膚にきちんと付くように、ストーマ周囲から外側に向けて、手で押さえながら十分に密着させます。

このような場合には

- ストーマ周囲にシワや凹凸がある場合、平坦または陥没ぎみのストーマの場合

別売りの各種皮膚保護剤で、皮膚表面を整えてから装具を貼ってください。

- \*面版をカットする場合は、ハサミの先端でストーマ袋を傷つけないように気をつけましょう。
- \*この際、ストーマを傷つけないように面版の切り口を指でこすって滑らかにしておきましょう。

### 排液バッグとの接続方法 <Dキャップ/Dキャップフラットの場合>

就寝時など、排液バッグを併用される場合、下記の通り接続してください。

**① 口具キャップを外します**  
排出口を上に向けながら、口具の引っかかりのある部分まで引き戻します。

**② 端部を差し込みます**  
排液バッグの端部を、口具の引っかかりのある部分まで差し込みます。

**③ 端部を引き戻します**  
排液バッグの端部を、口具の引っかかりのある部分まで引き戻します。

**排液バッグ(別売商品)のご紹介**  
※(排液バッグ)(当社製品)の場合、Jバッグの先端が口具にぴったりフィットします。

**使用上のご注意**  
排液バッグに接続の場合、詰まりにご注意ください。排泄物が泥状の場合など、排液バッグのチューブ部分に詰まり、流れにくい場合があります。流れが悪い場合、排液バッグの併用をお避けください。

### イレファインの種類と各部の名称

**D キャップ** ドレナージタイプ(凸面タイプ) 交換目安:2～3日

**D キャップフラット** ドレナージタイプ(平面タイプ) 交換目安:2～3日

**TD** ドレナブルタイプ(凸面タイプ) 交換目安:2～3日

**TD フラット** ドレナブルタイプ(平面タイプ) 交換目安:2～3日

### 使用上のご注意

- 面ファスナーのループ面・フック面に潤滑油や水が付着した状態で使用すると、接着力が弱まったり、衣服を汚すおそれがあります。水分や油分を十分に拭き取ってからご使用ください。
- ▼TDを閉じた状態
- ※D-70は、平面タイプとなります。

### 使用手順(排出口の開閉方法) <Dキャップ/Dキャップフラットの場合>

**●キャップの開け方/閉じ方**

**① キャップを外します**  
排出口を上に向け、便が出てこないように注意しながらキャップを外します。

**② 便を排出します**  
キャップを口具キャップ止めに止め、排出口をトイレに向けて便を排出します。  
\*排泄物に残りやすき場合には、口具部分を指先で押して、便をしぼり出してください。

**③ キャップを閉じます**  
排出が終わりましたら、排出口部分をトイレペーパーなどで拭き、キャップを付けます。

このような場合には

- ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合
- ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしぼり出してください。

排泄物に残りやすきが多く、詰まりなどによって、口具部分からの排出が困難な場合は、口具の上方をカットして、下部開放型ストーマ袋として使用することができます。

下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。  
\*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。

### 使用上のご注意

- このような場合には
- 排泄物に残りやすきが多く、詰まりやすい場合
  - ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合
  - ストーマ袋内の便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁に繊維状の固形物が引っかかり、便が流れ落ちにくい場合は、逆流防止弁の上あたりから下へしぼり出してください。
- 排泄物に残りやすきが多く、詰まりなどによって、口具部分からの排出が困難な場合は、口具の上方をカットして、下部開放型ストーマ袋として使用することができます。
- 下部開放型ストーマ袋として使用する場合は、付属のクリップをお使いください。  
\*クリップの使い方は「使用手順(排出口の開閉方法)<Dの場合>」をご覧ください。